



豊後大野市立緒方中学校学校だより

# 青雲の大志

令和5年11月9日

NO.20-3 文責 校長 内海真理子

【学校教育目標】 自他を尊重し、論理的な思考力と豊かな表現力で、粘り強く課題解決を図る生徒の育成

## 深まった 仲間との絆



\*私は、文化祭を振り返って、皆、上手く自分の仕事ができたとおぼやきました。私は、文化祭の期間が終わるまで、大道具の仕事がしっかりできたのでよかったです。2年生がほぼ2人の中、道具の制作や舞台映像を探ることができました。一番難しかったのは、役者との合わせです。特にトラックのシーンはタイミングが毎回ずれていたもので、とても難しかったです。文化祭当日は、2年生が中心となって、一人一人自分の仕事に責任をもててよかったです。\*私が、文化祭を通して成長したことは、他学年とのコミュニケーションです。文化祭の期間で仲良くなった人や、文化祭の前より話す回数が増えた人がいたのでよかったです。学校生活で、他学年ともしっかり交流していきたいとおぼやきました。

(2年 三嶋 知那さん)

\*今年の文化祭で印象に残ったことは、係長の大変さです。去年は1年生でステージ画の係でしたが、そんなに印象的ではありませんでした。が、今年は、小道具・衣装と並行して幕係などもやっていたので、常に気が張っていました。おかげで、今までの先輩たちはすごかったんだなとおぼやけたのでよかったです。

\*また、一つの事を仲間と作り上げていくことも達成感がありました。毎日、遅くまで放課後に残って大変だったけれど、自分の役割を全うすることができたし、とても楽しかったです。練習なしの、ぶっつけ本番でやらないといけないこともいくつかありましたが、そんなときは、まわりの人が支えて協力してくれたのでうれしかったし、仲間がいてよかったです。そんな場面が結構あったので、文化祭に限らず、仲間は大切にしようと、改めて思いました。来年は、今年よりも精一杯頑張りたいです。

(2年 工藤 鈴さん)



\*僕が、この文化祭を通して印象に残ったことは、全校合唱です。音楽の時間の練習では、他のパートにつられたり、あまり大きな声を出せなかったりと、少し不安がありました。最初の全校のパート練習では、大きな声は出せていたものの、音程がズレたり、ブレスのタイミングがバラバラだったり、ただ叫んでいるだけの人もいたりして、一体感がありませんでした。だけど、全校で練習していくうちにみんな大きくてきれいな声が出せるようになって、本番では最高の歌を歌うことができました。

\*次に、僕が成長したことは、仕事に責任をもてるようになったことです。僕は、そんな大きな仕事はしていないけれど、小道具でパソコンを作るときに放課後も少し残って作ったり、劇で物を片付けるとき、タイミングなどをしっかり確認したり、今までの僕ではできないようなこともできました。最高の文化祭になったと思およます。(2年 文東 拓海さん)